

# 大雨に備えましょう

## 過去の教訓から学ぶ

昭和32年7月25日―。

大村市は記録的な豪雨に見舞われました。朝から降り始めた雨は、杭出津地区で床下浸水が出る程で、14時には大雨警報が発令。郡川の水位は1.5メートルに達し、市は災害対策本部を設置し対策に乗り出しました。

しかし、各地の河川は増水し橋は壊れ、水主町方面をはじめ、駅前通りから本町、西大村方面の住宅街には水が流れこみ、深さは50センチに達しました。

夜になっても雨はやむことなく激しさを増し、19時には避難命令を発令。市の中心部を流れる大上戸川、内田川も氾濫し、堤防が決壊。浸水は2メートルまで達しました。また、鈴田、岩松付近は山間部から濁流とともに巨大な岩石が流れ込み、鉄道、国道は寸断され、付近の住宅を飲み込みました。大村の24時間の降雨量は730ミリ、1時間の最大雨量は141ミリを記録。死者は19人にのぼり、市内中心街は家屋の残がいや家財、流木などで足の踏み場もないほどの被害を受けました。



水田住宅付近の状況

昭和32年7月25日  
死者19人  
1日の降雨量730ミリ  
1時間の最大雨量141ミリ

毎年、日本各地で土砂災害や水害が発生したというニュースを目にします。それらの災害は、テレビやラジオの情報や、ちよとした知識を身に付けていけば事前に対応することが出来ます。日頃からの備えが、一人一人の防災力を高めることにつながるのです。

### ！集中豪雨や台風

集中豪雨や台風は、襲来時期や規模をある程度予測することが出来ます。テレビやラジオ、インターネットで最新の気象情報をチェックし、早めに行動することが大切です。

### ！注意報・警報の目安

大雨や暴風など、災害に対する注意を呼びかけます。情報の種類を確認しましょう。  
注意報：災害が起こる恐れがあるとき  
警報：「重大な」災害が起こる恐れがあるとき

特別警報：「数十年に一度」の災害が起こる恐れがあるとき  
土砂災害警戒情報：「大雨警報」発表中に、土砂災害発生の危険性が高まったとき

### ！日頃の心がけが肝心

災害が発生すると、電気や水道などのライフラインが機能しなくなる場合があります。いざというときに備え、最低3日分の備蓄品を用意しておきましょう。



### ！デジタルツール時役立つ！

気象情報や避難所の開設など、災害に関する情報をパソコンや携帯電話にメールでお知らせします。事前に登録して災害に備えましょう。



登録はこちらから

## 指定避難所一覧

市が避難勧告などを行ったときに開設します。災害の規模により、開設しない場合もありますので、避難する前に必ず安全対策課へお問い合わせください。

| 地区別 | 避難場所   |
|-----|--|
| 三 浦 | 三浦出張所<br>三浦小学校<br>浄土寺  |
| 鈴 田 | 鈴田出張所<br>鈴田小学校   |
| 大 村 | 体育文化センター(シーハットおおむら)<br>東大村小学校<br>旭が丘小学校<br>大村小学校<br>三城小学校<br>玖島中学校<br>大村中学校<br>県立大村城南高校<br>県立大村高校<br>総合福祉センター<br>市民交流プラザ<br>武道館<br>こどもセンター<br>県立大村特別支援学校 |
| 西大村 | 中地区住民センター<br>西大村地区コミセン<br>中央小学校<br>放虎原小学校<br>西大村小学校<br>西大村中学校<br>桜が原中学校<br>県立大村工業高校<br>JA 長崎県央大村中央支店<br>正法寺<br>池田公民館<br>池田湖畔会館                           |
| 竹 松 | 竹松出張所<br>竹松小学校<br>富の原小学校<br>郡地区公民館<br>虹の原特別支援学校<br>県立ろう学校  |
| 萱 瀬 | 萱瀬出張所<br>萱瀬小学校<br>黒木小学校<br>萱瀬中学校<br>萱瀬ダム建設記念会館   |
| 福 重 | 福重出張所<br>福重小学校<br>郡中学校<br>妙宣寺  |
| 松 原 | 松原出張所<br>松原小学校<br>野岳湖公園儀太夫記念館  |

# 地域で助け合おう



### 防災の基本は助け合い

住民自身が協力して自分たちの身を守る「共助」。これが地域を守る最も効果的な方法であり、防災の要です。

住んでいる地域が昔どんな場所だったのか、どんな災害が起きていたのかなど、昔からその地域に住んでいる人がよく知っています。地域の特性を把握したうえで、住民同士で災害に備えることが重要です。

災害時は、隣近所の人たちと協力して被害にあった人たちを救助・救援しなければなりません。そのため、町内会などで組織される「自主防災組織」の役割が大切になるのです。

### 自主防災組織とは

地域住民が「自分たちの地域は自分たちで守る」という意識のもと、自発的に防災活動を行う組織です。平時は、防災知識の普及、防災資器材の整備、防災訓練などを実施。災害時は、避難誘導や安否確認、避難所の開設・運営協力などを行います。4月現在、市では86組織が結成。組織率は53パーセントです。



↑松原地区自主防災訓練の様子。地域住民が一体となって年に1回防災訓練を行っています。

### 自主防災組織の結成を

大規模災害時には、消防や警察なども、同時にすべての現場に向かうことはできません。そのような事態に備え、地域住民が協力し、連携して地域の被害を最小限に抑えることが自主防災組織の役割です。あなたとあなたのまちを守るために自主防災組織を結成し、「災害に強いまち」をつくりましょう。

市では、地域が一体となって取り組む、自主防災組織の結成と活動を支援しています。お気軽にご相談ください。

■安全対策課(内線217)